

グッドウイン

「シニアライフ事業」本格スタート

「第3の創業」と位置付けて強化

グッドウイン(本社・東京都新宿区、梅津明美社長)は、今年7月から「シニアライフ事業」を本格的にスタートする。同事業は、「お客さまの人生100年時代に寄り添う」ための新しい事業で、同社が「シニアライフに関する総合的な相談の窓口」になる取り組みだ。同社は、今年を「第3の創業」と位置付けて、6月に「物語を、あなたと。」という新ブランドメッセージを掲げた。梅津明美社長に、具体的な方針を聞いた。

——御社の現状について。

梅津 まず、新型コロナウイルスに感染された方、生活や仕事に影響を受けた方々に心からお見舞いを申し上げます。

また、油断できない状況だが、当社では営業活動が制限される中でもお客さまに寄り添う施策を執行し、6月からは感染防止策をとりつつ平常営業に戻りお客さまの相談にお応えしている。

——第3の創業とは。

梅津 1997年の設立以来、委託型募集人を増やして代理店の規模を拡大してきた。2015年には委託募集人から社員として雇用する体制に変更し新たなスタートを切った。そのときに「第2の創業」と位置付けられた。体制変更で人員が一時的に減少したが、その後社員を増やし、スペシャリストの育成にも取り組んだ。17年11月には日本FP協会の認定教育機関となり、FPへの継続教育も提供している。わが国では、「人生100年」という意識が定着してきており、当社としてはあらためてお客さまの人生に寄り添い「物語を一緒に考えていく」と考えた。そこで「第2・第3の人生(シニアライフ)」をより



梅津社長

豊かに、安心して暮らすために困りごとの解決や、将来に関する情報を提供することとした。これが「第3の創業」。コロナウイルスの影響で「変化」を余儀なくされた企業はあまたあると思うが、当社では偶然とはいえ、もともと「変化」をステップアップを目指していた。誤解を恐れずに言えば、十分な準備とともに、変化の波にいち早く乗ることができたと考えている。

——これから取り組むことは。

梅津 従来の保険業界におけるライフプランは、「60歳で定年」「定年後の第二の人生」という前提で考えられてきた。しかし、人生100年となると、実は、「介護施設で10年、15年……という状況がいつ起こるか予測できない」「施設にかかる費用は高額だが誰が負担するか」「お墓は

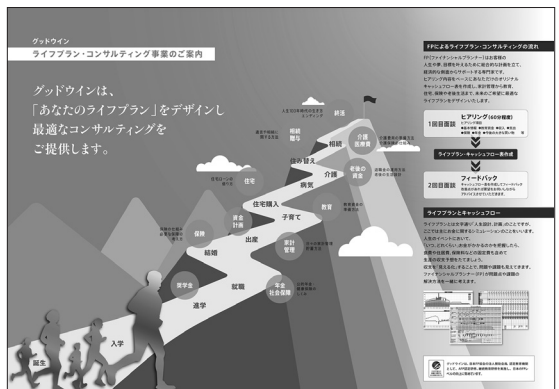
どこにするか」「親じきあとの親の家はどうするか」等々さまざまな心配事が出てくる。一方で、どこで相談すればよいか分からないというのが現状だ。そこで当社では、(一社)シニアライフサポート協会(注)からシニアサポートのポインタやノウハウを伝授してもらいながら、当社ならではの仕組みを構築した。保険代理店としての生損保の募集などの業務を行うとともに、教育事業(FP事業、シニアライフカウンセラー養成講座、100年ライフアドバイザー養成講座)、ライフプラン・コンサルティング事業、シニアライフサポート事業、各種セミナー事業を行っている。

——具体的に。

梅津 シニアやその家族などからの相談を受け付ける窓口を7月にオープンする。具体的には、直接会って対面相談できる窓口を基本として、本社内(東京・新宿の住友ビル42階)に「シニアライフ相談サロン」を設置する。相談を受け付けたあと、内容に応じて保険に関するものは当社で対応し、そのほかの相談は

「養成講座の特徴は。」

梅津 シニアライフカウンセラー養成講座のレベルは、初級・中級・上級の3段階で、初級では、超高齢化社会の将来展望、介護保険の基礎知識、認知症あれこれ、整理収納・片付け、エンディングノート、終活と逝去後の手続き、高齢者の住まい、葬儀などについて学ぶ。中級の内容は、医療保険、高齢者の犯罪、公的年金制度、民間



「ライフプラン・コンサルティング事業のご案内」の図



「私と家族の100年ライフ見える化ノート」の表紙

——パートナ企業とは。

梅津 シニアライフカウンセラー養成講座のレベルは、初級・中級・上級の3段階で、初級では、超高齢化社会の将来展望、介護保険の基礎知識、認知症あれこれ、整理収納・片付け、エンディングノート、終活と逝去後の手続き、高齢者の住まい、葬儀などについて学ぶ。中級の内容は、医療保険、高齢者の犯罪、公的年金制度、民間

も複数ある。また、希望者からの相談は、営業担当者や電話などを經由して受け付けるだけでなく、「シニアライフセミナー」も開催する。セミナーのテーマは、例えば、「セカンドライフマネージメント」「100年ライフ見える化セミナー」「終活セミナー」などで、シニアのライフイベント(セカンドライフ、サードライフ)の「気付き」と「事前準備の重要性」を顕在化していく。さらに詳しく相談したい方には個別に対応する。こうしたシニアライフセミナーは、早急に受講することで知識を広げ、将来の準備にもつながるため、職域での開催も有効だと考えている。現在問題になっている介護離職、地方での高齢者の増加、空き家の増加などへの意識を高め、対策にもつながる。社員の福利厚生の一環にもなる。

——シニアライフセミナーの具体的な内容は。

梅津 時間的には1時間半〜2時間の内容で、当社で用意した「私と家族の100年ライフ見える化ノート」に記入しながら理解度を高めてもらう。ノートでは、「自分の思い(人生観・信念・価値観)を一覧から選択してチェックし、「自分が大切にしたいと思うこと・キーワード」の1番目と2番目を、参考例1覧(80以上のキーワード)を見ながらノートに記入。次いで、「残りの人生でやりたいこと・実現したいこと」についても参考例を見ながら書き入れる。そうして進めていくうちに自分の人生設計が少し見えてきて、さらに、自分や家族の困りごと・不安の確認、未来の予想年表、収支計算書への記入などで将来を可視化でき、対策も考えられる。講座やサロン、セミナーや同ノートについても、シニアライフサポート協会の知見を分けてもらっており、今後は、当社で内製化して取り組んでいく。

——今後の展望を。

梅津 シニアライフ事業は、「お客さま」「パートナー企業」「当社」の3者にとってWinWinの3者による関係になり、社会貢献にもつながる。まずは、私達(グッドウインの社員たち)のスキルを豊かにして、お伝えしていきたい。この機会に会社内も新しく作成した。保険会社各社では、「人生100年」に向けた多様な保険商品を提供し、シニア関連事業も拡大させている。保険会社グループも含めて、できるだけ多くの企業とコラボレーションを結んでいきたい。保険代理店によるこうした事業は業界初だと思っており、期待の声も多数もっている。この取り組みを着実に広げていきたい。また、シニアライフ事業への取り組みだけでなく、代理店としてあるべき姿を当社が体現するた

——「注」(一社)シニアライフサポート協会(本部・札幌市、小幡一弘代表理事)は、高齢者生涯安心サポートとして地域福祉に貢献することを目的として設立。高齢者の各種相談に応じた支援および有益な情報を提供している。

——「注」(一社)シニアライフサポート協会(本部・札幌市、小幡一弘代表理事)は、高齢者生涯安心サポートとして地域福祉に貢献することを目的として設立。高齢者の各種相談に応じた支援および有益な情報を提供している。

——「注」(一社)シニアライフサポート協会(本部・札幌市、小幡一弘代表理事)は、高齢者生涯安心サポートとして地域福祉に貢献することを目的として設立。高齢者の各種相談に応じた支援および有益な情報を提供している。

——「注」(一社)シニアライフサポート協会(本部・札幌市、小幡一弘代表理事)は、高齢者生涯安心サポートとして地域福祉に貢献することを目的として設立。高齢者の各種相談に応じた支援および有益な情報を提供している。

——「注」(一社)シニアライフサポート協会(本部・札幌市、小幡一弘代表理事)は、高齢者生涯安心サポートとして地域福祉に貢献することを目的として設立。高齢者の各種相談に応じた支援および有益な情報を提供している。

——「注」(一社)シニアライフサポート協会(本部・札幌市、小幡一弘代表理事)は、高齢者生涯安心サポートとして地域福祉に貢献することを目的として設立。高齢者の各種相談に応じた支援および有益な情報を提供している。